

組合総会 開かれる

2024年3月19日、組合員の業務終了後に学内の一室を借りて2023年度組合総会が開催された。総会成立の要件が確認されたあと、活動報告および会計報告がなされ、次いで次期執行委員が選出された。さらに2024年度の活動方針と予算案が承認され、閉会した。

総会終了後、組合員より多額の寄付があった。ありがたく頂戴し、組合活動のために大切に使用させていただくこととした。寄付された組合員には感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

2024年度執行委員

執行委員長 東 康彦
書記長 尾形篤太郎
執行委員 亀井 敬
会計監査 田端淑矩

副執行委員長 高橋達雄
会計 木藤聡一
執行委員 武本眞清

会計資料

2023年度北陸大学教職員組合決算報告書
(2023.2.25～2024.2.29)

収支計算書

I 収入の部	予算	決算
前年度より繰越	10,080,956 円	10,080,956 円
組合費	300,000 円	161,000 円
寄付	- 円	0 円
金利	- 円	66 円
行事収入	- 円	0 円
雑収入	- 円	0 円
合計	10,380,956 円	10,242,022 円

II 支出の部	予算	決算
事務用品費	25,000 円	0 円
郵便・通信費	25,000 円	6,809 円
コピー・印刷費	25,000 円	0 円
資料収集費	25,000 円	0 円
上部団体納入費	132,000 円	118,800 円
旅費等出張費	100,000 円	0 円
会議費	25,000 円	0 円
弁護士費用	100,000 円	0 円
振込費等会計処理費	10,000 円	880 円
慶弔費	100,000 円	20,000 円
行事費	200,000 円	0 円
予備費	150,000 円	0 円
合計	917,000 円	146,489 円

収支残高	10,095,533 円
------	--------------

貸借対照表

I 資産の部	
預金残高	9,619,180 円
(内訳)	
北陸銀行	775,854 円
郵貯銀行総合口座	35,735 円
通常貯蓄貯金	7,029,791 円
金沢信用金庫	- 円
郵便振替口座	1,777,800 円
現金残高	476,353 円
合計	10,095,533 円

II 負債の部	
借入金	- 円
合計	- 円

以上のように決算報告をいたします。

2024年3月14日

会計

木藤 聡一



以上の決算は正確であることを証明します。

2024年3月14日

会計監査

田端 淑矩



東執行委員長の抱負

今年度も執行委員長（2期目）を務めさせていただきます東康彦と申します。昨年末にはアンケートにご回答いただき、ありがとうございます。集計結果は組合ニュース号外（本誌表面参照）でお見せいたしますが、先に伝えると、教職員の皆様が最も関心を抱いている項目は、「待遇改善」であることが分かりました。我々、組合メンバーもそれに全く異論はないことを先に示した総会で確認しております。

薬学部では少ない教員数で多くの業務に対応しています。それに連動して、給与・賞与が増えればいいのですが、特に賞与支給率はここ数年じわじわ減っています（下表「2017年からの賞与の推移」を参照）。毎年「ベースアップ要求に対する満額回答」や「国家公務員の賞与支給率」などのニュースを耳にすると、羨ましさや惨めさが入り交じります。現状のままでは業務に対するモチベーションが全く高まりません。

これらを改善するには、我々教員と職員の意見を公式に法人側へ届けなければいけません。また、現在困っていることについても法人側へ伝えていく必要があります。組合へのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2017年からの賞与の推移（教員用） 職員は人事考課あり

	夏季	冬季	合計
2017年度	1.5ヵ月	1.7ヵ月＋人事考課0～20万円	3.2ヵ月＋人事考課0～20万円
2018年度	1.5ヵ月	1.7ヵ月＋一律10万円	3.2ヵ月＋一律10万円
2019年度	1.6ヵ月	1.8ヵ月＋一律10万円	3.4ヵ月＋一律10万円
2020年度	1.6ヵ月	1.8ヵ月＋一律10万円	3.4ヵ月＋一律10万円
2021年度	1.6ヵ月	1.7ヵ月＋一律10万円	3.3ヵ月＋一律10万円
2022年度	1.55ヵ月	1.7ヵ月＋一律10万円	3.25ヵ月＋一律10万円
2023年度	1.55ヵ月	1.6ヵ月＋一律10万円	3.15ヵ月＋一律10万円

高橋副執行委員長の抱負

昨年度に引き続き、今年度も副執行委員長を務めさせていただきます高橋達雄と申します。今年度は、教職員の意見を法人側へ届けることを目標の一つとして考えております。昨年末のアンケートでは、最も関心のある事項が「賞与および給与交渉（待遇改善）」であることが分かりましたので、これを掘り下げて教職員の意見といたします。

昨年度の私大春闘では、88組合が要求を提出して春闘に取り組み、12組合がベースアップ（ベア；定期昇給を除いた基本給に対しての昇給）を獲得し、特別一時金などの有額回答を40組合が引き出しています。私大春闘では長らくベアゼロが長いていましたが、円安、コロナ禍、戦争などによる物価高騰の影響もあり、近年にない前進が勝ち取られています。

物価上昇の生活への影響は若年層ほど大きく、人材確保との関係でも賃上げの必要性が高いことは言うまでもなく、昨年末のアンケート結果はそれを如実に示していると言えます。待遇改善や労働環境の改善など真にやりがいのある職場を目指して、今こそ我々の意見を法人に届けるチャンスです！ 次回のアンケートでは皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください！

尾形書記長の抱負

書記長を務めさせて頂いております、薬学部所属の尾形篤太郎と申します。昨年度から当職を拝命し2年目の春を迎え、この期間、学内教職員の様々なご意見を伺い、学内環境や組織の状況をより詳細に知ることができました。その結果、本学をより良い環境にするためには具体的にどうすれば良いのか、少しずつ項目が見えてまいりました。また、教職員の皆様のご意見は当然の事ながら多種多様であり、改善の実現にはより多くのご意見が必要である事を昨年度実施したアンケート結果から実感致しました。

今年は年始から大きな自然災害に見舞われ、多くの人々の尊い命と財産・文化が失われてしまいました。地元である本学の学生や教職員の中にも被災された方は少なくありません。しかし、被災の大小はあれ幸いにも学生と教職員が全員無事であったことは唯一の救いがあります。このような状況の中、4月に海外留学生を含め沢山の元気な新入生が本学を選び入学してくれたことはとても喜ばしく、私にとって大きな励みとなりました。地方少子化の影響は大きく、本学も学生確保に苦心しておりますが、定員充足率は現在少しずつ改善に向かっております。今後も本学が成長していくためには全教職員と法人側の協力と目標統一が不可欠であり、組合は両者を橋渡しする役割を担っております。本年度も皆様の客観的な声を法人側に届けるために誠心誠意活動して参りますので、ご指導・ご協力およびアンケートへの回答をよろしくお願い致します。組合員や教職員の皆様におかれましては、法人側に伝えたいことなど何かございましたら、遠慮なく我々へお話しいただければ幸いです。個人のプライバシーに関しては厳守することを誓います。

組合員募集中

当組合は法的に正当な存在であるのは当然のことですが、法人側も組合の存在や活動に理解を示しております。団体交渉時では、待遇改善や労働環境改善などについて、お互いの立場を尊重しながら、意見を交換しています。組合の意見が受け入れられる場合もあれば、そうでない場合もありますが、根気よく交渉しています。組合加入によって個人が理不尽な不利益を被ることはありません。組合員であれば、個人的なトラブルが生じたとき、組合員全員で相談に乗り、その方を親身になって守ることもできます。重大な問題が発生したときの弁護士や上部組織も付いています。組合へ加入し、待遇改善や労働環境改善などについて数多くの意見を述べることで北陸大学を法人側と共に良くしていくことができます。意見を伝えなければ、意見がない（教職員が困っていることはなく改善すべき点はない。教職員は気持ちよく働いている）ものと法人側には判断されてしまいます。意見を受け入れてもらうには、その数が多いほど有利に働きます。非正規、正規にかかわらず教員ならびに職員の皆様のご加入を心よりお待ちしております。

お問い合わせおよび組合入会連絡先
東・高橋達雄・尾形・木藤

北陸大学教職員組合ホームページ <http://www.hussu.jpn.org>